

# 2010年度 決算説明会資料



**株式会社 SJI**

2011年5月23日

# 1. 決算概況



## ◎連結

売上高 17,812 百万円 (前年比 19.1 % ↓)

当期純利益 55 百万円 (前年比 31.0 % ↓)

- 国内事業 : 厳しく不透明な市況に対応し、利益率確保に向けた努力を継続  
 ▶▶▶ 固定費を中心に経費削減／営業強化による稼働率向上
- 海外事業 : 日本・中国向けシステム開発が好調  
 しかしLIANDI CLEAN TECHNOLOGY INC.グループ(以下、LNDTグループ)の非子会社化により、前年比大幅減

### ◎単体

売上高 10,946 百万円 (前年比 33.2 % ↑)

当期純利益 △142 百万円 (前年比 - %)

# ●2010年度実績（予想比／前年比）【連結】



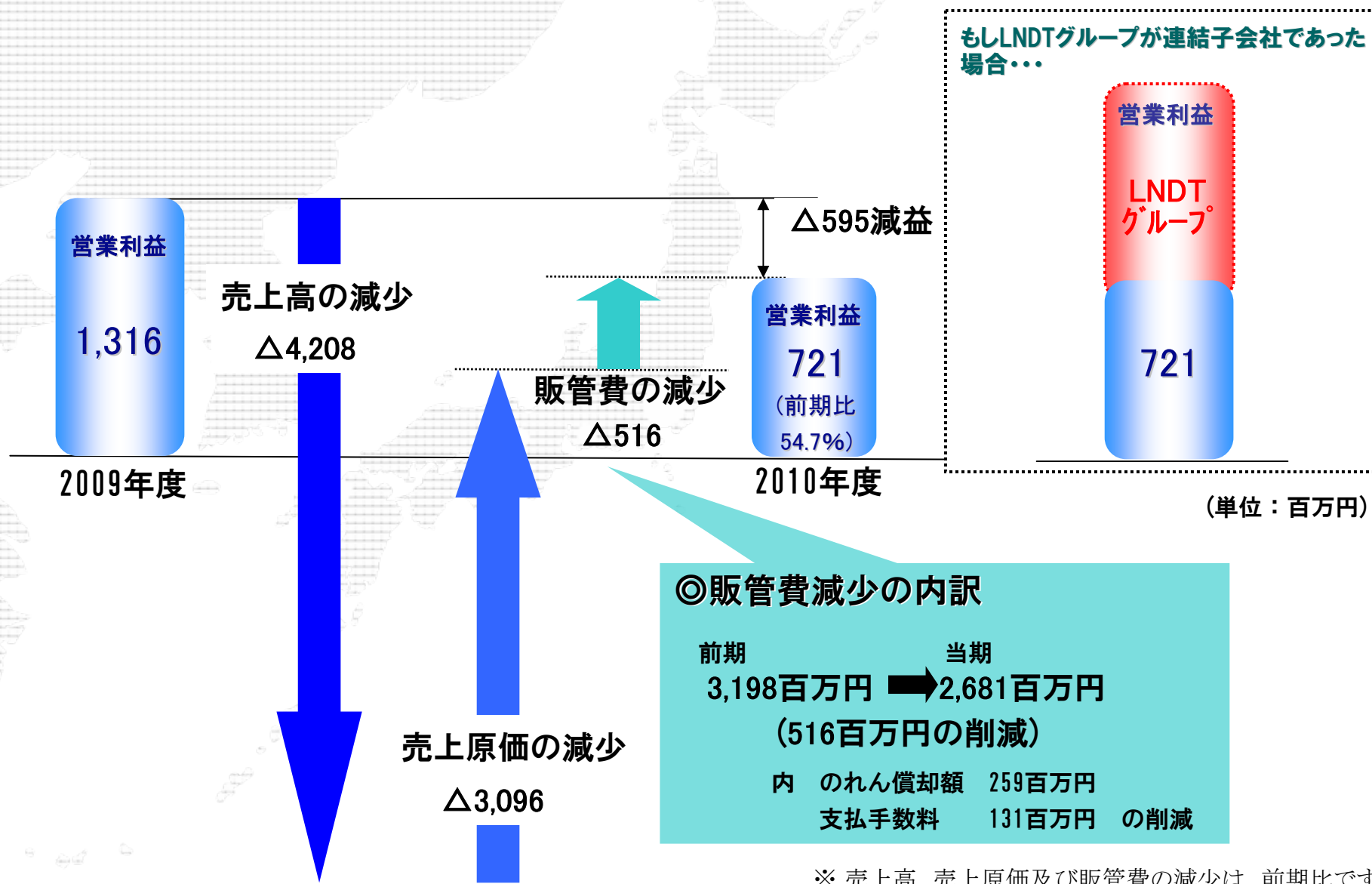
単位：百万円

	2010年度		業績予想 達成率	対前期 増減率
	数値	構成比		
売上高	17,812	100.0%	87.7%	△19.1%
営業利益	721	4.1%	91.3%	△45.2%
経常利益	883	5.0%	95.0%	△28.8%
当期純利益	55	0.3%	12.3%	△31.0%

※ 当社は持株会社であり、連結ベースでの経営管理を行っております。単体の数値につきましては別紙『数値編』をご参照下さい。

※ 業績予想達成率は、期初予想(2010年5月14日付決算短信にて発表した予想)に対する数値を記載しています。

# ● 営業利益の変動要因(連結・前期比)

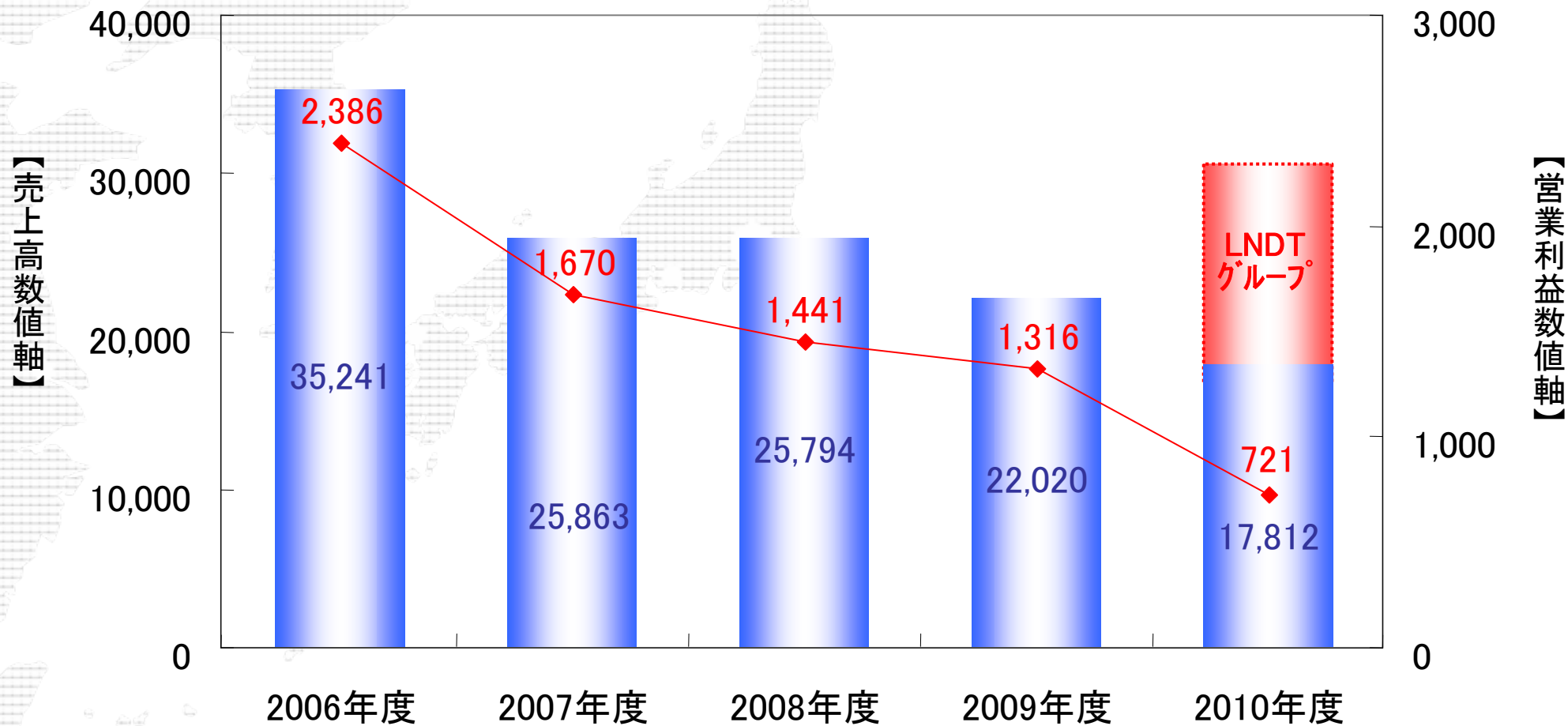


※ 売上高、売上原価及び販管費の減少は、前期比です。

# ●売上・営業利益推移【連結】

■ 売上高      ◆ 営業利益

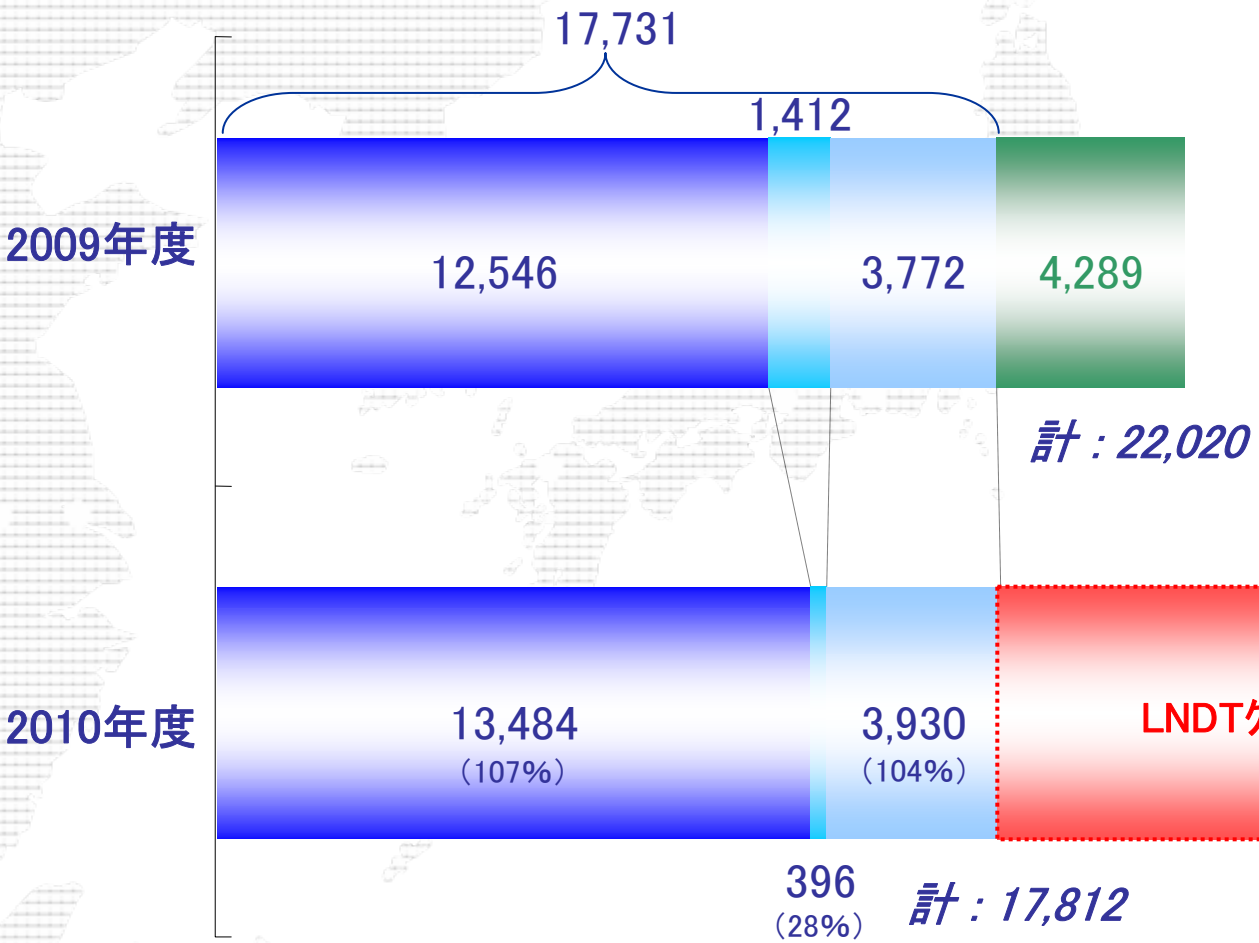
単位：百万円



# ●事業の種類別売上高推移【連結】

情報サービス事業 ( ■ システム開発、 ■ ソフトウェア製品、 ■ 情報関連商品 )  
 ■ 石油化学エンジニアリングサービス事業

単位：百万円



- ① 売上規模は前期と比べ2割弱の減少
- ② 「情報サービス事業」は微増。  
日本と中国向けシステム開発が好調であったものの、ソフトウェア製品が大幅に減少
- ③ 「石油化学エンジニアリングサービス事業」は、当該企業の米国市場における新株発行に伴う当社持株比率低下により、2010年度の売上計上は無し

※ 「石油化学エンジニアリングサービス事業」を営むグループ企業は、2010年度より子会社に該当しなくなりました。

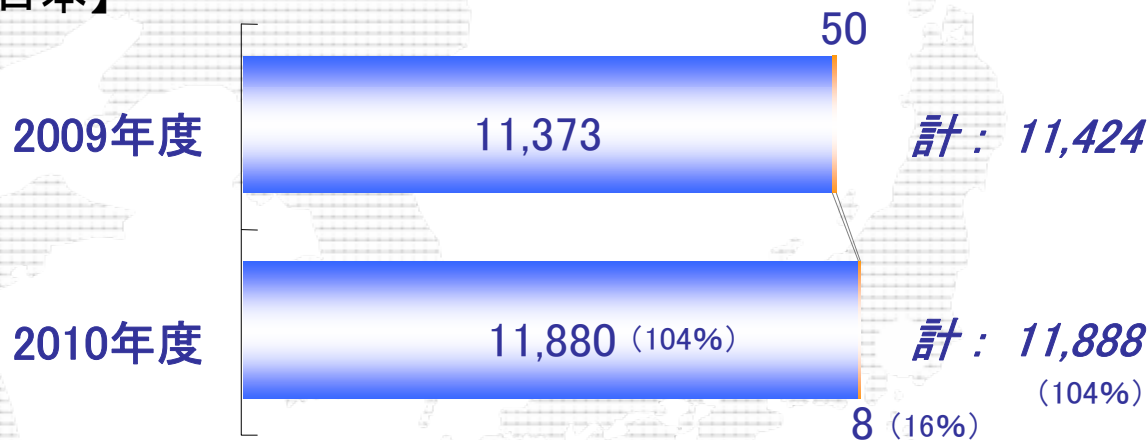


# ●報告セグメント別売上高推移【連結】

■ 外部顧客に対する売上高    ■ 内部顧客に対する売上高又は振替高

単位：百万円

## 【日本】



### ①【日本】

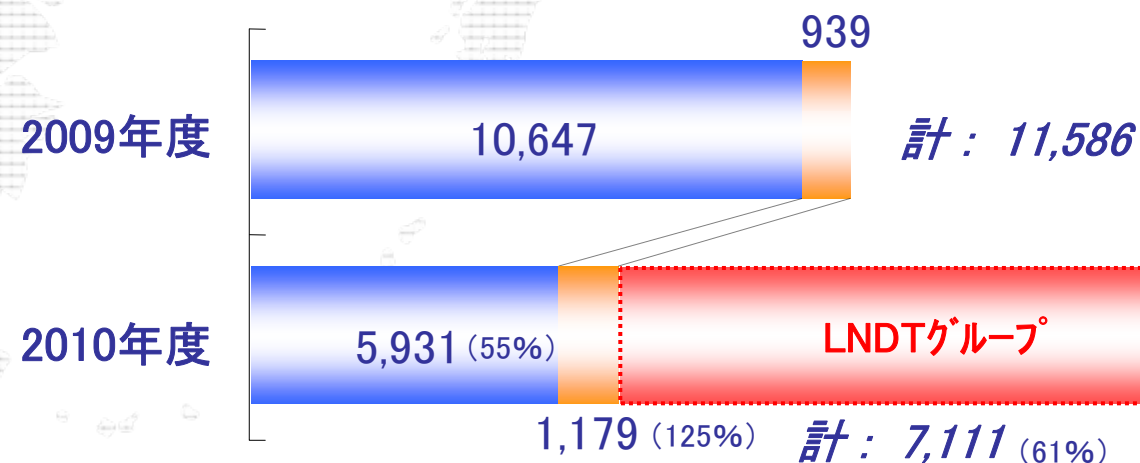
営業・提案力強化によるシステム開発の稼働率が向上したものの、受注単価下落等により、売上規模は微増(前期比)

### ②【中国】

売上規模(外部顧客)は3割以上の減少。日中向けシステム開発が好調であったが、清潔グループの非子会社化の影響大

③ 売上高の日中比は、およそ6:4

## 【中国】





# ●報告セグメント別営業利益推移【連結】

■ 営業利益

単位：百万円

【日本】

2009年度

△43

2010年度

292

【中国】

2009年度

1,420

2010年度

426

LNDTグループ°

①【日本】

利益は前期赤字に対し、336百万円の増加。

システム開発において単価の下落等があったが、営業強化による稼働率向上と、鋭意経費削減に取り組んだことが要因

②【中国】

利益規模は前期比で7割減少。

清潔グループの非子会社化の影響大

③ 営業利益の日中比は、およそ4：6

# ● バランスシート概要 【連結】

単位:百万円

		2009年度		2010年度		増減	
		数	値	構成比	数		値
資産の部	流動資産	15,391	68.3%	16,401	69.4%	1,009	
	固定資産	7,129	31.7%	7,219	30.6%	89	
	繰延資産	-	-%	-	-%	-	
	資産合計	22,521	100.0%	23,620	100.0%	1,099	
負債の部	流動負債	8,365	37.2%	9,286	39.3%	921	
	固定負債	1,626	7.2%	1,981	8.4%	355	
	負債合計	9,991	44.4%	11,268	47.7%	1,276	
少数株主持分		1,404	6.2%	1,403	5.9%	△0	
純資産合計		12,529	55.6%	12,352	52.3%	△176	
負債純資産合計		22,521	100.0%	23,620	100.0%	1,099	

# ●キャッシュフロー概要【連結】

単位:百万円

	2009年度	2010年度	増 減
営業活動による キャッシュ・フロー	966	Δ1,125	Δ2,091
投資活動による キャッシュ・フロー	Δ1,095	142	1,238
財務活動による キャッシュ・フロー	3,915	387	Δ3,528
現金及び現金同等物 期末残高	3,878	3,143	Δ735

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
売上高営業利益率 (%)	6.8	6.5	5.6	6.0	4.0
一株当たり当期純利益 (円)	2,741	380	△523	149	77
自己資本比率 (%)	42.0	36.7	35.8	49.4	46.4
R O E (%)	14.7	2.1	△3.2	0.9	0.5

※ 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数に基づき算出しています。また、株式分割の影響は考慮しておりません。

## 2. 企業活動概要



『顧客の要望に応え、信頼を得る』努力を1年365日積み重ねる

神州数碼グループとの提携を軸に『情報サービスにおける日中の架け橋』となる

グループ財務体質の強化及び投資資金の効率運用

# ●年間経営目標達成のための諸施策と取組み(国内)

## 国内

- 主要顧客の重点的開拓による一括受託開発の受注拡大
- 回復が見込めるオフショア開発の事業展開の積極化
- 日系企業向けソリューションビジネスの開始

### 【2010年度取組み】

一括受託開発拡大



一括受託開発市場の停滞により、下期より稼働率向上に注力

オフショア開発積極化



顧客への積極提案継続、アライアンス企業からの発注が旺盛

ソリューションビジネス開始



保守・運用業務によるSJIブランド力の向上を推進



# ●年間経営目標達成のための諸施策と取組み（海外）

## 海外

- 中国現地向けシステム開発及びオフショア開発体制の拡充
- 投資採算性と資金効率に考慮した投資・資金管理の徹底
- 神州数碼グループとの連携強化等による中国事業展開加速化

### 【2010年度取組み】

中国開発センター拡大



日本・中国市場からのニーズに対応した体制へシフト

投資・資金管理徹底



中国事業に関する資金管理体制の強化／資金の現地調達化

中国事業加速化



中国市場における金融・政府向けSI事業に関する検討

# ●年間経営目標達成のための諸施策と取組み（共通）

## 共通

- 神州数碼グループとの提携具体化／有力企業とのアライアンス推進

### アライアンス推進

#### 【2010年度取組み】

神州数碼グループの経営戦略対応を目的として、北京駐在員を派遣

日本を代表するIT企業との業務提携支援に関し、交渉を継続

### 3. 2011年度の業績見通し



単位:百万円

	第 2 四 半 期		通 期	
	数 値	対前期増減率	数 値	対前期増減率
売 上 高	7,388	△6.0%	17,000	△4.6%
営 業 利 益	196	234.3%	790	9.6%
経 常 利 益	380	- %	1,145	29.5%
当 期 純 利 益	198	- %	770	1,288.3%

単位:百万円

	第 2 四 半 期		通 期	
	数 値	対前期増減率	数 値	対前期増減率
売 上 高	4,459	△15.5%	10,370	△5.3%
営 業 利 益	20	- %	400	22.8%
経 常 利 益	45	- %	390	7.8%
当 期 純 利 益	△8	- %	300	- %

## ◎利益配当金について

- ➡ 成長の為の内部留保を念頭に置きつつ、株主還元を行う所存
- ➡ 利益還元は、継続的かつ安定的に実施する方針

### ◎一株当り配当金の実績と予定

	2009年度実績	2010年度予定	2011年度予定
1株当り配当金	100 円	200 円	200円

## 4. 当期の事業展開について



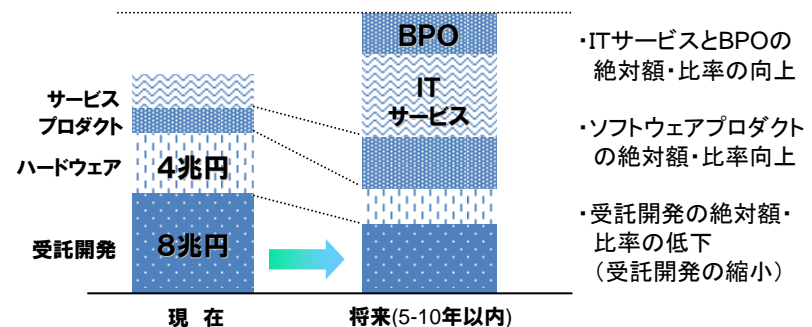




## インパクト

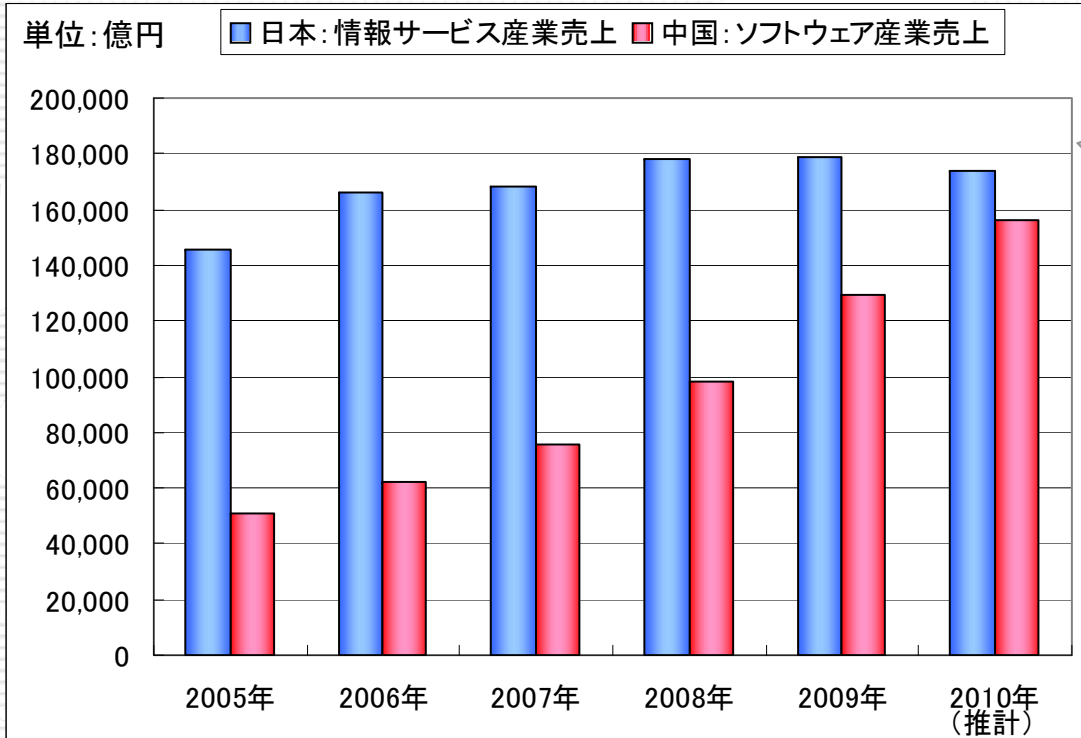
- 国内ITサービス市場の成熟化・停滞化
- 「作る」から「使う」へパラダイムシフト(クラウド等)
- ユーザのグローバル化
- オフショア拡大
- 新興国ベンダーの競争力向上
- 顧客からの強い管理・運用コストの削減要求
- 東日本大震災の発生による、リスク分散を目的としたシステムのクラウド化・グローバル化の加速

## 業界の事業別売上高変化予測



※JISA「構造改革に向けたアクションプラン」より

## 【日中の業界売上推移】



このままの成長率が継続すれば、2011年には中国が日本の業界規模を超える見通し。また、2020年には中国のソフトウェア産業売上は130兆円規模になるとの意見も。

▶ 成長著しい中国ソフトウェア産業において、売上が100億元(1,300億円)を超える企業は3社(2009年)

1. 華為 (Huawei)
2. 中興 (ZTE)
3. 神州数碼 (Digital China)

▶ 中国ソフトウェア産業売上の内外比率(2009年)

中国国内：87.2%      海外：12.8%

内需の取り込みにより成長しているが、海外売上も2000年との比較では49倍の増加となっている。

## 【中国における法定最低賃金（月次）の推移】

単位：元

都市名	2005年	2010年	増加率(%)
北京	580	960	65.5
上海	690	1120	62.3
大連	500	900	80.0
西安	490	760	55.1

▶ 中国政府は「貧富の格差」を和らげるため、第12次五ヵ年計画においても、低所得者の収入増加を明記しており、2010年には全ての省において賃金が引き上げられ、その上昇率は全国平均で23.9%となった。

また、現時点においても継続的に賃金引き上げが計画・実施されており、今後のシステム開発者の賃金上昇にも大きな影響を与えるものと思われる。

※第14回日中情報サービス産業懇談会 等より

# ● 1月7日リリース「構造改革の方向性」について①

**目的： 減収減益の流れに歯止めをかけ、再び事業を収益向上の軌道に乗せる**

## 【事業施策】

### 国内

- 人員／組織を適切な規模にダウンサイジングし、固定費を抑制
- 収益性と成長性が見込める分野(医療情報システム等)を強化
- マーケットトレンドビジネス対応の為の研究開発部門の設置

収益構造の改革

研究開発実施

### 海外

- 神州数碼グループとのビジネス連携を加速し、収益へ反映
- 市場ニーズに合った中国開発センターの組織再編

DCとの連携加速

開発センター再編

### 共通

- 神州数碼ブランドを活用した日中間ビジネスの推進

架け橋ビジネス推進

## ● 1月7日リリース「構造改革の方向性」について②

### 【その他施策】

#### 共通

● グループ資産の整理による財務内容の改善と投資余力増加



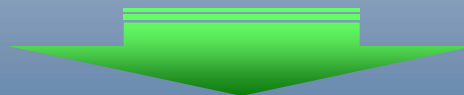
財務内容の改善

● 日中間事業に適した人材の育成強化と人材配置の最適化



人材育成強化

- ▶ 被災地域において当社グループ拠点は、存在していません
- ▶ 2010年度においては、売上2百万円程度マイナスの影響がありました
- ▶ 現在は、お客様の状況について、継続して情報収集を行っている状況ではありますが、今後の市場動向には不確定要素も多く、2011年度以降の影響については、精査中です
- ▶ 今後、業績予想に与える影響が大きいと判断される場合には、その旨速やかに開示します



**大震災後、IT業界においてはクラウド化とグローバル化の加速が顕著に。  
この変化を捉え、ビジネス・チャンスとすべく、構造改革を推進！**

## 5. 今後のSJグループの方向性



## ● 今後のSJIの方向性

◆ (当社代表取締役会長兼社長 李 堅 より)



## ● 今後の見通し等の記載に関するご注意

本資料の記載事項は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。  
今後の業績につきましては、様々な要因によって予想数値と異なる可能性がありますので、あらかじめご承知おきください。

# 【別紙】 数值編



# ●2010年度実績①前年比【連結】



単位：百万円

	2009年度		2010年度		前年比
	数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	
売 上 高	22,020	100.0%	17,812	100.0%	80.9%
営 業 利 益	1,316	6.0%	721	4.1%	54.8%
経 常 利 益	1,241	5.6%	883	5.0%	71.2%
特 別 利 益	119	0.5%	9	0.1%	7.8%
特 別 損 失	382	1.7%	362	2.0%	94.7%
当 期 純 利 益	80	0.4%	55	0.3%	69.0%

# ●2010年度実績①前年比【単体】

単位：百万円

	2009年度		2010年度		前年比
	数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	
売 上 高	8,221	100.0%	10,946	100.0%	133.2%
営 業 利 益	263	3.2%	325	3.0%	123.4%
経 常 利 益	331	4.0%	361	3.3%	109.2%
特 別 利 益	106	1.3%	—	—%	—%
特 別 損 失	410	5.0%	350	3.2%	85.6%
当 期 純 利 益	△71	—%	△142	—%	—%

# ●2010年度実績②予想比【連結】



単位：百万円

	期初予想値		2010年度		達成率
	数	値	構成比	数	
売上高	20,300	100.0%	17,812	100.0%	87.7%
営業利益	790	3.9%	721	4.1%	91.3%
経常利益	930	4.6%	883	5.0%	95.0%
特別利益	-	-%	9	0.1%	-%
特別損失	-	-%	362	2.0%	-%
当期純利益	450	2.2%	55	0.3%	12.3%

# ●2010年度実績②予想比【単体】

単位：百万円

	期初予想値		2010年度		達成率
	数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	
売 上 高	11,200	100.0%	10,946	100.0%	97.7%
営 業 利 益	400	3.6%	325	3.0%	81.4%
経 常 利 益	427	3.8%	361	3.3%	84.7%
特 別 利 益	—	—%	—	—%	—%
特 別 損 失	—	—%	350	3.2%	—%
当 期 純 利 益	254	2.3%	△142	—%	—%

単位:百万円

	2009年度		2010年度		前年比
	数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	
人 件 費	1,283	40.1%	1,290	48.1%	100.6%
研究開発費	44	1.4%	28	1.1%	64.1%
旅費交通費	140	4.4%	150	5.6%	106.9%
そ の 他	1,730	54.1%	1,213	45.2%	70.1%
<b>販管費合計</b>	<b>3,198</b>	<b>100.0%</b>	<b>2,681</b>	<b>100.0%</b>	<b>83.8%</b>

※人件費には、役員報酬を含んでおります。

(数値は連結)



# ● バランスシート概要 【連結】

単位:百万円

		2009年度		2010年度		増減
		数値	構成比	数値	構成比	
資産の部	流動資産	15,391	68.3%	16,401	69.4%	1,009
	固定資産	7,129	31.7%	7,219	30.6%	89
	繰延資産	-	-%	-	-%	-
	資産合計	22,521	100.0%	23,620	100.0%	1,099
負債の部	流動負債	8,365	37.2%	9,286	39.3%	921
	固定負債	1,626	7.2%	1,981	8.4%	355
	負債合計	9,991	44.4%	11,268	47.7%	1,276
少数株主持分		1,404	6.2%	1,403	5.9%	△0
純資産合計		12,529	55.6%	12,352	52.3%	△176
負債純資産合計		22,521	100.0%	23,620	100.0%	1,099

# ● バランスシート概要 【単体】

単位：百万円

	2009年度		2010年度		増減	
	数値	構成比	数値	構成比		
資産の部	流動資産	12,400	67.6%	12,830	68.3%	429
	固定資産	5,950	32.4%	5,958	31.7%	7
	繰延資産	-	-%	-	-%	-
	資産合計	18,351	100.0%	18,789	100.0%	437
負債の部	流動負債	6,723	36.6%	6,912	36.8%	189
	固定負債	1,360	7.4%	1,800	9.6%	439
	負債合計	8,083	44.1%	8,712	46.4%	629
純資産合計	10,267	56.0%	10,076	53.6%	△191	
負債純資産合計	18,351	100.0%	18,789	100.0%	437	

# ●キャッシュフロー概要【連結】

単位:百万円

	2009年度	2010年度	増 減
営業活動による キャッシュ・フロー	966	△1,125	△2,091
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,095	142	1,238
財務活動による キャッシュ・フロー	3,915	387	△3,528
現金及び現金同等物 期末残高	3,878	3,143	△735